

令和6年度 上田高等学校定時制課程 学校自己評価(最終評価)

I 学校評価(自己評価)

教育目標《定時制の目指す学校像》	中・長期的目標	総合評価
1 様々な学習歴や生活歴をもつ生徒が、安全・安心な環境の中で、一人ひとりに潜在する能力や適性を十分に発揮できるようにする。 2 生徒一人ひとりが学校生活をとおして、自己の目標を見つけ、自信を持って自立することができる教育を目指す。	(1) 教育目標達成に向け、客観的な学校評価を可能にするため、学校関係者の評価を受け、それに基づく具体的改善策を検討実施する。	昨年度から継続で外部団体との積極的な連携を図っている。コミュニケーション能力に関する指摘が多く、SSTなどの取組を増やして改善を図った。
	(2) わかる授業の展開と、それに伴う授業評価の方法を構築する。	年2回の授業アンケートから、授業中の発問、ワークシートの作成の改善を行っている。
	(3) 学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てていくという連帯意識・協力関係の醸成を図り、本校定時制の質的改善を目指す。	地域との連携は課題である。上田市の取組を活用させていただき、テーマを絞って次年度取り組みを検討している。
	(4) 自学自習の実践。自分で考え、自分でおこなう力の育成を行う。	生徒会や部活動は自ら参加する姿勢が出てきている。検定に向けた取り組みでも自分から取り組む姿勢が見られた。
	本年度の重点目標	成果と課題(最終評価)
	① 丁寧な指導により、生徒の学習意欲を高める。	google classroomの活用は、教科によって差はあるが徐々に広がっている。
	② 生徒に寄り添いながら、自立を支援する。	生徒支援係主導で面談等継続して行ったが、後期の終盤にかけてもう少し支援が必要だった。
	③ 早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る。	バスツアー等の機会を利用して、本物を知る機会の充実を図る。
	④ 衛生的・健康的で、きれいな学校をつくる。	昇降口の鉢植えを、生徒に協力もあり充実させることができた。
	⑤ 生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる。	生活アンケート後の生徒面談をきちんと行っている。次年度に向けて教室の活用について検討・準備する。
	⑥ いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる。	現在いじめ等の報告は上がっていないが、引き続きアンテナを高く生徒の様子に注意を払っていく。
	⑦ 家庭との連絡を密にとり、生徒を共に育てていく。	各担任の先生を中心に行っているが、学校全体で生徒を見ていることを全職員で意識していく。

II 学校評価(学校関係者評価)

- ・不登校を経験した生徒は会ってきた人の数が多くないために、必要な時のコミュニケーション不足は否めない。SSTなど、何かしら対策を講じながらそれを埋めることは必要となるだろう。
- ・進路実現に向けての取組について少し課題がある。就職については、ガイダンスだけでなく様々な職種について知る機会を設けても良いかと思われる。

Ⅲ 学校評価(職員アンケート)

【評価】 A: 十分達成 B: ほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分									
重点 目標	重点目標	評価項目	評価の観点		A	B	C	D	
①	丁寧な指導により、生徒の学習意欲と学力を高める	個別指導の充実	1	生徒一人ひとりの学習課題を把握できたか	20	60	20	0	
			2	学習課題に応じた指導ができたか	20	60	20	0	
		苦手教科のある生徒への指導	3	補充指導を十分に行うことができたか	50	30	20	0	
			4	提出物の指導ができたか	70	20	0	10	
		指導方法の改善	5	学習状況についての情報共有ができたか	30	60	10	0	
			6	教材の工夫ができたか	20	80	0	0	
			7	授業評価を授業改善に活かすことができたか	20	70	10	0	
		特設授業の充実	8	生徒の学習意欲や学力向上の期待に応える授業の工夫ができたか	10	80	10	0	
		個に応じた指導の充実	9	夏期補習を実施できたか	30	40	20	10	
			10	進学補習と基礎力補充ができたか	10	50	30	10	
			11	就業支援に応える補習 ができたか	20	70	10	0	
②	生徒に寄り添いながら自立を支援する	生徒が抱える悩みの把握	12	早い段階で生徒の悩みを把握し、対応ができたか	0	80	20	0	
		生徒支援チームの活動	13	生徒支援チームを立ち上げ機能させることができたか	10	60	30	0	
			14	生徒支援に関する情報の共有ができたか	10	70	20	0	
			15	外部機関との連携を十分に行えたか	40	40	20	0	
		開かれた学校づくり	16	地域に開かれた学校づくりができたか	0	70	30	0	
			17	外部との連携ができたか	20	70	10	0	
		在校生生徒の就業支援(アルバイト)	18	生徒の希望に応える支援ができたか	20	70	10	0	
		キャリア教育の充実	19	インターンシップを実施できたか	0	30	50	20	
20	就業体験活動を実施できたか		10	30	60	0			
③	早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る	進路目標の早期確立	21	進路講話やガイダンスにより生徒の意識を高めることができたか	30	70	0	0	
			22	個別面談を実施し生徒の目標を明らかにできたか	50	50	0	0	
		三修制生徒の進路指導	23	希望する進路の実現を支援できたか	50	50	0	0	
		就職希望者に対する進路指導	24	外部機関との連携ができたか	50	30	20	0	
			25	希望する就職の実現を支援できたか	20	50	30	0	
④	衛生的・健康的で、きれいな学校をつくる	全校清掃の計画と実施	26	定期的な全校清掃が実施できたか	20	70	10	0	
		上下履きの区別	27	登校時指導が実施できたか	20	30	40	10	
		健康や環境に対する意識の向上	28	総合的な学習での取り組みができたか	20	60	20	0	
		衛生的な環境の保持と感染症予防	29	消毒・手洗い等の励行や健康観察ができたか	30	70	0	0	
⑤	生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる	LHR時間の充実	30	LHR時間を十分に確保しクラスの活動ができたか	10	70	20	0	
			31	内容の充実をはかることができたか	0	80	20	0	
		生徒主体による行事の実現	32	生徒会による行事の運営ができたか	50	50	0	0	
			33	仲間づくりにつながる行事の実施ができたか	50	40	10	0	
⑥	いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる	いじめ・暴力・体罰のない安全、安心な学校、居場所づくり	34	生徒の意識を高める指導が実施できたか	10	70	20	0	
			35	発生した事案に対し適切に対処できたか	20	70	10	0	
⑦	家庭との連絡を密に取り、生徒を共に育てていく	家庭との連絡	36	必要な情報を家庭に発信できたか	20	80	0	0	
			37	生徒の変化・異常を見逃さずに家庭に連絡できたか	40	60	0	0	

評価の観点の網掛け: 評価A・Bを合わせた結果が80%を下回った項目